



きんぼし
東大阪

マツシロ 株式会社

〒578-0912

東大阪市角田 1-10-8

TEL 072-962-1431

FAX 072-963-0128

http://www.m-elitebag.co.jp

E-mail: info@m-elitebag.co.jp



代表取締役社長
松城 幹夫

★創業
1949年(昭和24年)

★資本金
4,860万円

★従業員
15人

★主要営業品目
エリート印紙袋、袋物、服飾雑貨
「Loop Change Loop」

★トップシェア製品
ペーパーバッグ(30%)

群を抜く製品企画力で 多彩なペーパーバッグ

駅売店やコンビニエンスストアなどで売っている手提げ紙袋(ペーパーバッグ)。マツシロ(株)は、年間50億円といわれるこの市場で約3割のシェアを誇る最大手メーカーである。

米国製のきれいなラッピング用紙袋をヒントに、販売用手提げ紙袋を国内で初めて製品化したのは1959年。先代社長の「デザインと耐久性を重視すれば売れる」という発想で、紙袋にビニールを被せたことにより、強度だけでなく、単なる消耗品であった紙袋にお洒落な製品というイメージを植えつけることに成功した。

現在、同社が製造している紙袋はデザイン別に約120種類。なかには発売以来20年間というロングセラーもあるが、製品企画力は高い。最近では、底が三角形のものや、ポケット付きの製品も開発している。これは、約10社のデザイン事務所と契約を結び、「紙袋をただの物入れではなく、ファッションの一部にしたい」をモットーに、常に新しいアイデアを求める同社の姿勢によるもの。最近では近畿大学との産学連携企画商品の「BIY 防災バッグ」を発売。この商品はSDGs活動や、貧困をなくそう、特に子供たちの貧困をなくす活動の一環として1枚購入頂くと5円をFC大阪のこども基金に寄付している。

また、紙は他社より上質のものを使用する傍ら環境問題にも配慮し、再生紙を30%含む紙の使用も50%にのぼる。また、焼却時に有毒ガスが発生する塩化ビニールの代替品として、塩化ビニールと同様の機能をもつポリプロピレン(NIPP)を樹脂メーカーと共同で開発、導入している。

一方、企業のオリジナル紙袋を受注する新しい部門を設立。これまでに蓄積した企画力を活かして、受注先の小売店や企業のイメージアップにつながるような紙袋の作製に注力する。

